

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第166号



2020年8月18日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19



## 地域人材手当引下撤回交渉 横須賀市立うわまち病院労組

うわまち病院では、看護職員の確保・定着が困難なため、2013年に地域人材手当を月1万円増額しました。しかし、今年の春は退職者が少なかったため、その手当を月8千円減額しました。市民病院では、7年前の増額はなく、今回月8千円の減額を強行しようとしており、自治労横須賀労連は、地労委利用の準備に入っています。

うわまち病院では、新型コロナ肺炎の入院患者を受け入れており、南館勤務のスタッフは、家に帰れないなどの状況におかれています。また今月上旬には、5階病棟で5人の看護スタッフ陽性者が出ています。こういう中で大幅賃下げは許さないと、日本医労連とともに、地域医療振興協会本部及び病院当局との交渉を行っています。両者の説明は、どこまで行っても食い違っており、責任逃れの姿勢が見えます。

組合では、ニュースを発行し、この件での意見をまとめており、状況によっては、署名運動を考えています。

## 三浦市職労、Yデッキ宣伝に参加！

コロナ禍の下、再開した7/23のYデッキ宣伝では、担当単組の三浦市職労から、松本委員長・川原書記長・大内執行委員の3人が参加して、最低賃金引き上げの宣伝を行いました。

前日、中央最低賃金審議会小委員会が、「全国平均の目安

を示さない」ことを決めた中で宣伝でしたが、50代の東芝の派遣社員が、熱心に話しかけてくるなど、市民の関心は高く、「コロナの中でこそ、大幅引き上げを」「全国一律1500円に」と訴えました。

神奈川県最低賃金審議会は5日、1円引き上げて時給1012円の答申をしています。



## 合同労組組合員の職場で、パワハラ激化！

合同労組では、4月にソフトバンク代理店の労働相談を受け、2人の青年組合員が加入。5月には残業代未払の一部支払いを勝ち取りました。ところが8月に入り、二人から店長によるパワハラの相談を受けました。団交申し入れと要求書を作成している最中に、店長のきつい言葉により、組合員が過呼吸と不整脈を起こしたため、翌日ただちに書記長が店長と面談しました。店長は、書記長の前で組合員にきつい発言を行ったため、その様子を労務担当者に連絡し、指導を依頼しました。